

胆道癌に対する抗がん剤治療

英国の Bridgewater らは、進行胆道癌の化学療法として、410名の患者においてシスプラチン+ゲムシタビン併用療法をゲムシタビン単独療法と比較した結果（ABC-02 試験）を「New England Journal of Medicine」誌に掲載しました。



その結果、シスプラチン+ゲムシタビン併用には、毒性増加なく生存優位性（生存期間中央値：11.7ヶ月 vs 8.1ヶ月；ハザード比0.64）が認められました。